

MECサーチご利用マニュアル

1、ログインする

 \ 現役生の皆様 /
MECサーチのご利用前に
「MECマイページ」の
ご登録をお願い致します。

ご登録がお済みでない方は必ずご登録をお願いします。



ユーザーID

パスワード

ログイン

※MECサーチのご利用にはMEC講座の受講が必要です。
大学もしくはMEC各校にてお申込みください。

お問い合わせ

e-schoolと同じIDと
パスワードを入力してください

回数別検索タブでご利用ください

MEC SEARCH
MEC講座テキスト運動 国試問題&解説検索サービス

国試問題&解説検索

回数別検索 テキスト別検索 CBT検索

回数別検索

保存した検索条件 全選択

回数別

カテゴリ全選択

<input type="checkbox"/> 第98回以前	<input type="checkbox"/> 第99回	<input type="checkbox"/> 第100回	<input type="checkbox"/> 第101回	<input type="checkbox"/> 第102回
<input type="checkbox"/> 第103回	<input type="checkbox"/> 第104回	<input type="checkbox"/> 第105回	<input type="checkbox"/> 第106回	<input type="checkbox"/> 第107回
<input type="checkbox"/> 第108回	<input type="checkbox"/> 第109回	<input type="checkbox"/> 第110回	<input type="checkbox"/> 第111回	<input type="checkbox"/> 第112回
<input type="checkbox"/> 第113回	<input type="checkbox"/> 第114回			

2、問題を検索する

MEC SEARCH
国試問題 & 解説検索

回数別検索 テキスト別検索 CBT検索

回数別検索

回数別

個別問題指定 範囲問題指定

※「- (ハイフン)」は省略できません。
個別問題の検索方法を下記より選択してください

完全一致 部分一致

分野

問題形式

科目別大分類

科目別小分類

疾患

テーマ

正答率

マーク

解答マーク

CBTマーク

ランダム検索

表示

検索する

設問別

カテゴリ全解除

個別問題指定 範囲問題指定

113A-1 ~

入力方法

※「- (ハイフン)」は省略できません。
個別問題の検索方法を下記より選択してください

完全一致 部分一致

① 検索したい問題番号を入力してください

【入力例】 113A-1 (113回 A問題 問1を検索の場合)
※大文字、小文字、半角、全角いずれも使用可能です

② 「完全一致」をチェック

③ 「検索する」をクリック

3、問題を表示する

MEC SEARCH
MEC 国試テキスト添削 国試問題と解説検索サービス

国試問題 & 解説検索

回数別検索 テキスト別検索 CBT検索

検索条件 条件保存 検索条件変更

検索形式	回数別検索	回数	113A-1	分野	
問題形式		科目別大分類		科目別小分類	
疾患		テーマ		正答率	
マーク		解答マーク		CBTマーク	
表示順			回数別		

巻頭リスト 1件中 1ページ 20 表示

1

第113回 A-1 肝細胞癌の治療方針決定に重要な因子 96%

MEC SEARCH
MEC 国試テキスト添削 国試問題と解説検索サービス

国試問題 & 解説検索

回数別検索 テキスト別検索 CBT検索

検索条件 条件保存 検索条件変更

検索形式	回数別検索	回数	113A-1	分野	
問題形式		科目別大分類		科目別小分類	
疾患		テーマ		正答率	
マーク		解答マーク		CBTマーク	
表示順			回数別		

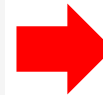
問題別一覧 1件中 1ページ 20 表示

1

(113A-1)
肝硬変を母地として発生した最大径2cm、単発の肝細胞癌に対する治療方針を決定する上で重要でないのはどれか。
a 腹水の有無 b ビリルビン値 c 肝硬変の成因
d 肝性脳症の有無 e プロトロンビン時間

2回目

1回目: | 2回目: | 3回目:



「巻頭リスト」から「問題別一覧」に変更

4、問題演習をする

(113A-1)

肝硬変を母地として発生した最大径2cm、単発の肝細胞癌に対する治療方針を決定する上で重要でないのはどれか。

a 腹水の有無 b ビリルビン値 c 肝硬変の成因
d 肝性脳症の有無 e プロトロンビン時間

演習問題

1回目 ▾ A B C D E クリア 採点

正誤一覧

1回目: × | 2回目: × | 3回目: ×

① 「回数」を選択し、回答をチェック
※ 3回まで演習可能です

② 「採点」をクリック

③ 採点結果が○×で表示されます
※ 演習結果は3回まで記録可能です

5、解説を確認する

問題別一覧 1件中 1ページ 20 表示

1

113A-1)
肝硬変を母地として発生した最大径2cm、単発の肝細胞癌に対する治療方針を決定する上で重要でないのはどれか。
a 腹水の有無 b ビリルビン値 c 肝硬変の成因
d 肝性脳症の有無 e プロトロンビン時間

演習問題

2回目 ▾ A B C D E

正誤一覧

1回目: × | 2回目: × | 3回目: ×

「問題別一覧」から「問題／解説」に変更



問題/解答 1件中 1ページ 20 表示

1

(113A-1)
肝硬変を母地として発生した最大径2cm、単発の肝細胞癌に対する治療方針を決定する上で重要でないのはどれか。
a 腹水の有無 b ビリルビン値 c 肝硬変の成因
d 肝性脳症の有無 e プロトロンビン時間

(113A-1) 解答 : c

a Child-Pugh 分類でも肝障害度分類でも用いられる。我が国の肝癌治療は、おおむね「肝癌診療ガイドライン 2017 年版」の治療アルゴリズムに従って行われる。このアルゴリズムで治療方針を決定する上で重要なのは肝予備能、肝外転移の有無、脈管侵襲の有無、腫瘍数、腫瘍径の 5 因子である。内科治療では肝予備能は Child-Pugh 分類で評価され、外科治療では肝予備能は肝障害度分類（原発性肝癌取扱い規約第 6 版補訂版）を用いて評価するよう推奨される。Child-Pugh 分類では、脳症、腹水、血清ビリルビン値、血清アルブミン値、プロトロンビン活性値が用いられる。肝障害度分類では、腹水、血清ビリルビン値、血清アルブミン値、ICG15 分値、プロトロンビン活性値が用いられる。

b [選択肢考察 a] に同じ。

c Child-Pugh 分類でも肝障害度分類でも考慮されない。

d Child-Pugh 分類で用いられる。

e [選択肢考察 a] に同じ。

演習問題

2回目 ▾ A B C D E

正誤一覧

1回目: × | 2回目: × | 3回目: ×